

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	3月25日	入札公告 (説明書)	9	評価項目	評価項目の「トンネル施工時におけるお客様避難路の安全確保と誘導方法に関する提案」について、施工実績に実績として記載する工事名等は、避難坑拡幅工事での実績でなくても良いでしょうか。ご教示願います。	技術提案書作成説明書に記載のとおりです。避難連絡坑拡幅工事の実績である必要はありません。
2	3月25日	R06.03.11 質問回答書1	1	5	「原則、施工中の切羽付近の避難連絡坑は使用しない方針で考えております。」という回答を頂いていますが、避難連絡坑の使用禁止措置は現状設置されている扉を閉鎖するものと考えて良いでしょうか。現状設置されている扉を閉鎖する場合、I期線(供用線)側から閉鎖するのでしょうか。もしくは、既設避難連絡坑内から閉鎖するのでしょうか。	避難連絡坑の閉鎖方法等については、貴社が計画する方法でお考えください。
3	3月25日	R06.03.11 質問回答書1	1	5	避難連絡坑の使用禁止措置について、避難連絡坑の閉鎖および解除作業は本工事の受注者が行うもの(行えるもの)と考えて良いでしょうか。	避難連絡坑の閉鎖及び解除作業は、受注者が行うものとしてお考えください。ただし、作業前には道路管制センター等関係者の協議が必要となります。
4	3月25日	R06.03.11 質問回答書1	1	5	「原則、施工中の切羽付近の避難連絡坑は使用しない方針で考えております。」という回答を頂いていますが、”施工中の切羽付近”とはII期線切羽前後の何m区間の避難連絡坑を使用しない方針とお考えでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき、施工ヤードや安全確保に必要な範囲をご検討のうえ、ご提案ください。
5	3月25日	R06.03.11 質問回答書1	1	5	「原則、施工中の切羽付近の避難連絡坑は使用しない方針で考えております。」という回答より、II期線のトンネル掘削の進捗に伴い、使用禁止措置を実施する避難連絡坑の箇所が変化していくものと考えますが、I期線(供用線)における避難連絡坑の位置およびI期線内の直近の避難連絡坑までの距離の明示は発注者側で実施すると考えてよろしいでしょうか。	技術提案内容を除き、別途、設計図書に定めのない対策を講じる必要が生じた場合は、契約締結後に別途監督員との協議により定めることとなります。
6	3月25日	R06.03.11 質問回答書1	1	5	「原則、施工中の切羽付近の避難連絡坑は使用しない方針で考えております。」という回答を頂いていますが、施工中のII期線切羽付近の避難連絡坑のみではなく、避難連絡坑II期線施工区間施工時(拡幅施工、覆工コンクリート)についても別途、避難連絡坑を使用禁止にする方針として計画されているでしょうか。	そのとおりです。